

プロフェッショナルスタンダード (PS) の活用方法について

◆ 〈会員の皆さまへ〉 ご自身に不足している項目を知ろう!

PS は、薬剤師が生涯に亘って学習すべき以下の5つの領域に基づいて構成してあります。各領域毎に定めた「一般目標」(16個)と「到達目標」(381個)はすべて、それぞれの薬剤師の経験やこれまで習得してきた知識に加え、期待される知識・技能・態度を指標としており、それらを難易度で分類整理しています。

1. ヒューマニズム (倫理)
2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性)
3. 地域住民の健康増進 (薬物乱用防止、セルフメディケーション)
4. リスクマネジメント
5. 法律制度の遵守

まず、学習を始める前に、PS を手に、ご自身に不足している項目を知ることから始めてください。それを知るとは学習・研修計画が立てやすくなるという効果を生み、自らの研鑽ばかりではなく、国民の信頼獲得へとつながります。

しかしながら、日常業務を行いながら、すべての項目を一度に習得することは容易ではありません。地域により受講や研修機会が異なる場合もあると思われますので、適宜、優先順位をつけていただき、ご自身によって目標を定めた上で、研修会受講や既存の各種学習手段*を利用する計画を立てるために PS をご活用ください。

※例として、(1) 新カリキュラム対応 CD 研修 (CD は日本薬剤師研修センター発行)

<http://www.jpec.or.jp/contents/c24/index.html>

(2) インターネット研修 (以下は日本薬剤師研修センター認定)

①ファーマストリーム「インターネット薬剤師生涯教育講座」

<http://www.pharmastream.net/phs-wbt5/>

②医療教育研究所「e-ラーニング薬剤師生涯研修プログラム」

<http://www.ime.or.jp/>

③MP ラーニング「薬剤師のための e-ラーニング」

<http://www.medipalweb.com/>